

# 女子は花北青雲 4年ぶり

## バドミントン

(男子) (関市総合体育館)  
▽1部団体決勝  
盛岡市立 3-2 前  
村井 0-2 田軽  
村石 沢

勝 (盛岡市立は2年ぶり4度目の優勝)  
▽ダブルス準決勝  
原村井 優聡紀 2-0  
田軽 前

勝 (盛岡市立は2年ぶり4度目の優勝)  
▽3位決定戦  
千北 藤高 2-1  
業條 2-0 高藤

▽2部団体1回戦  
大船渡 2-0 杜陵  
久慈・長内 2-0 杜陵・奥州

▽準決勝  
杜陵 2-0 久慈・長内  
一関 2-0 大船渡

▽決勝  
杜陵 2-0 久慈・長内  
一関 2-0 大船渡

▽ダブルス準決勝  
小岩 大貴 2-1 滝本 芳樹  
杜陵・奥 2-1 杜陵

▽準決勝  
杜陵 2-0 久慈・長内  
一関 2-0 大船渡

▽決勝  
杜陵 2-0 久慈・長内  
一関 2-0 大船渡

日は31日、各地でバドミントンやホッポバドミントンの男子団体は盛岡市立が女子は花北青雲が4年ぶりに優勝が男女ともに5連覇を達成。レスリンが4年ぶりに頂点に立った。相撲団体がアーチェリーの男子団体は盛岡工が6に連覇を伸ばした。フェンシングが優勝した。女子は25連覇。自転車車輪(紫波総合3年)が制した。重量

## 第66回 県高校 総体

第9日  
挙げ男子105kg級は全国選抜大会準優勝の菊地凱(岩谷堂3年)、カヌーの男子カヤックシングルは鷹橋勇太(不来方3年)が頂点に立った。柔道は1部男女個人戦を行い、女子48kg級の佐々木万実(盛岡中央3年)が3連覇。同52kg級の佐藤茜(関学院2年)、同63kg級の切金美希(盛岡南2年)はともに2年連続で制した。剣道の1部個人戦は、男子が藤沢圭祐(盛岡一3年)、女子は小林美結(盛岡南1年)が栄冠に輝いた。第10日の6月1日はハンドボール、剣道など17競技を行う。

▽決勝  
小畑 2 2121 1017 0 小  
花北青雲 3 0 0 前  
中島山 2 0 0 松長  
好岡 沢 岩

勝 (花北青雲は4年ぶり3度目の優勝)  
▽ダブルス準決勝  
中島山 静花 2-0  
花北青雲 2-0 藤井 実空

▽準決勝  
野田 2-0 石及 川川  
藤井 2-0 佐々木

▽3位決定戦  
佐山 莉奈 2-0 谷地 桜子  
平渡 咲 2-0 久保田 知夏  
(盛岡市立)

▽2部団体1回戦  
中島山 2 2121 1012 0 平佐  
外藤 川井 2-0 久谷 保 田地

▽決勝  
釜石 2-0 杜陵  
久慈・長内 2-0 釜石

▽準決勝  
久慈・長内は初優勝  
▽ダブルス準決勝  
種村佳央理 2-0 駒林 菜那  
久慈・長内 2-0 釜石

▽決勝  
佐々木麗華 2-0 東崎 和美  
(大船渡)

▽準決勝  
種村 2 2121 1919 0 佐々木



女子団体決勝 花北青雲-前沢 好運係でチームを優勝に導いた花北青雲の第1ダブルス、島山静花(左)と中島葵



女子団体で4年ぶりの優勝を果たした花北青雲

生で臨んだ花北青雲が4年ぶりに王座に返り咲いた。初戦から全5試合をストレート勝ち。圧倒的勝利。順調に第2ダブルス、

第1シングルで勝利すると同時進行で行われた第1ダブルスに会場の視線が集まった。緊張しそうな状況でも、2年生ながらチームを引っ張る島山静花、中島葵は何のその。勝ち急ぐことなく、互いに冷静なプレーに徹した。スマッシュで相手を崩して好機を生み出し、得点を重

ねた。島山は「全国では初戦突破が目標。今後のチームにつながる戦いをしてい」と意気込んだ。